



- 前列右より
青山 三四郎議員
武田 平吾議員
伊藤 茂議員
八田 憲児議員
竹内 照夫議員
仲野 弘子議員
津田 新三議員
鷺見 達夫議員
北村 正二議員
- 後列右より
川口 正徳議員
幸光 正嗣議員
桐田 真人議員
竹内 基二議員
中野 治郎議員
近藤 眞弘議員
伴 孝昭議員
草野 聖地議員

ごあいさつ

新春の候、市民の皆様におかれましては、輝かしい平成30年の新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は人口減少社会という時代の大きな転換期を迎える中で、持続可能で住み続けたいまち「大津」を目指し、新しい総合計画のもと、新たなまちづくりがスタートいたしました。

振り返りますと、昨年8月には長年の懸案となっていました大津びわこ競輪場跡地について、民間活力の導入により商業施設と公園を一体化した複合施設とする再開発が行われることとなり、平成31年度のオープンに向けて整備される運びとなりました。

また、10月下旬には台風21号が襲来し、市内各所に甚大な被害をもたらしました。市議会では、11月通常会議の冒頭に災害復旧関連の補正予算を速やかに可決し、早期の災害復旧を可能としました。

改めて被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を願うものであります。

一方、11月には市民センターの再編案が示されました。市民センターは、市民生活に密着した大切な施設であることから、本市の将来を見据えたまちづくりが進められるよう、今後とも十分に議論を尽くしてまいりたいと考えております。

我が会派は、市議会最大会派の使命を果たすべく、一致団結して市民の皆様の幸せのために努力を重ねていく所存であります。また、さらなるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって希望に満ちあふれた年となりますことをご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

幹事長 竹内 照夫

湖誠会は、地域の皆様のお声を大切に大津の将来を創造します。

① 北村 正二
JR和邇駅前周辺道路整備ほか和邇北浜の防災道路等3カ所の地域道路改良の取り組みに成果が上がりつつあります。身近な生活道路改良を着実に。

⑧ 伴 孝昭
琵琶湖の自然と大津百町の歴史・文化を生かした、魅力ある中心市街地の再生と、安心で住みよい地域づくりに取り組めます。

⑪ 竹内 基二
旧東海道の歴史的資産の見直しやまちの魅力を発信する事業に積極的に取り組み、住んでよかったと実感できるまちづくりを推進し街並み整備につとめます。

② 津田 新三
住み続けたい町「大津」を目指し、市民福祉の向上に全力を尽くすと共に、北部地域のハード・ソフト事業を通じ地元の発展に努めます。

⑨ 竹内 照夫
昨年6月にJR膳所駅の橋上化と新南北連絡通路が完成いたしました。今後は、北側駅前広場の早期完成、ならびに南側駅前広場の実現に向けて取り組んで参ります。

⑫ 鷺見 達夫
今期末までに石山湖岸線都市計画道路3.4.15号(通称天津通)開通の運びとなります。今後国道422号接合等新たな諸問題に取り組んで参ります。

③ 仲野 弘子
まちづくりの充実を目指し、堅田駅西口土地区画整理事業の平成31年度の完成に向けて取り組み、議長として大津市の発展のため全力を傾注して参ります。

⑩ 伊藤 茂
自己実現像は「ホッとのおっちゃん」です。今年も惻隱の情をもって皆様に安らぎと癒しを与えられる人間を目指します。

⑬ 近藤 眞弘
JR瀬田駅前南口広場の暫定整備も完了、引き続き東南部地域の課題解決に向け、皆さまのお声を聴き、安全で安心・活気と和みのある大津づくりに取り組みます。

④ 武田 平吾
陽の当たaraぬところに陽を当てる政治。社会的に弱い立場の人の声を実現する政治。これらの反映に流汗努力いたします。

⑭ 幸光 正嗣
住んで良かったまち、住みたいまち大津を目指し、地域に根ざした視点で皆様の思い・お声を形にするべく全力で取り組んで参ります。

⑮ 桐田 真人
「日々、真剣勝負」。真面目に丁寧に議員活動に取り組み、ひとつひとつの結果を重ね、信頼される確かな政治を行います。

⑤ 中野 治郎
4つの約束①県道比叡辻日吉線の拡幅整備事業を推進②坂本地区文化遺産で活性化③在宅医療・介護連携の推進④幼児教育の支援に全力で取り組みます。

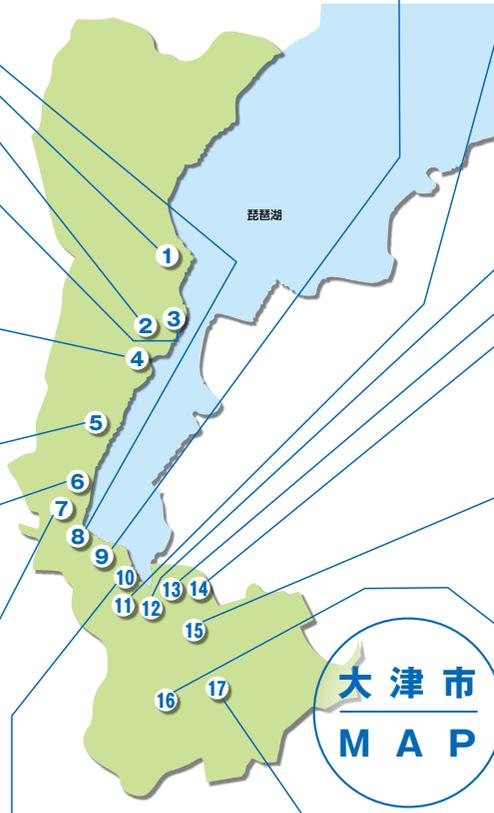
⑯ 川口 正徳
近年の異常気象に鑑み、市民が安心して安全に暮らし、住み続けられる持続可能なまちづくりを推進し、笑顔あふれる大津市を目指します。

⑰ 青山 三四郎
・生み、育てやすい大津市
・住みやすい環境をつくる大津市
・若者呼び込める大津市
・女性が活躍しやすい大津市 を目指します。

⑥ 八田 憲児
今年度は、34万市民の一人ひとりが、真に豊かさを実感できるまちづくりを実現するため、副議長の任務を誠心誠意全うするよう、努力して参ります。

⑱ 草野 聖地
子どもは、地域の未来です。地域の子どもの笑顔を増やし、それが、すべての人たちの元気につながるように最善を尽くします。

⑲ 伊藤 茂
自己実現像は「ホッとのおっちゃん」です。今年も惻隱の情をもって皆様に安らぎと癒しを与えられる人間を目指します。



大津市MAP

11月通常会議一般質問

質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは津南市議会ホームページをご覧ください。

Q 津田 新三議員

大津市における工場用地の確保について

工場の立地は、雇用創出や税収確保に効果的であるため、将来を見据えて重点的に取り組むべきであり、特に市北部地域は立地環境に適していると考えるが、企業誘致と工場用地の種地確保の必要性を伺う。

A 本市は、京阪神地域に近接し交通の要衝でもあり、そのため、企業誘致は、市内経済の発展や雇用創出、税収確保等に寄与する重要な施策の一つであり、工業用地の種地確保は市北部エリアを含めて市全域の重要課題であると認識している。短期的には緑地面積率の緩和や、県企業誘致推進室、不動産協会等からの不動産情報や工場誘致につなげていく。長期的には用途地域も踏まえた工場用地の確保が重要であると認識している。

Q 武田 平吾議員

市民センターの再編に係る市の見解について

市民センター再編案は、自治連合会の意見と大きな乖離を感じるとともに、人口の多い学区に残して過疎地域には残していない学区があるため、地域によって自治機能に大きな差が出てバランスの崩れたまごづくりになることが懸念される。一気に再編を進めるのではなく十分に時間を掛けて激変緩和対策を講じ、市民の理解を得ながらより慎重に取り組みべきと考えるが市の見解を伺う。

A 自治連合会と将来の課題を共有し、さらに議論を深めるため、再編の素案を示した。今後とも地域の特性や実情に応じた新たな地域自治組織の設立支援や活動拠点の確保に努めるとともに、素案に対する意見を踏まえ検討を進める。

Q 青山三四郎議員

児童生徒の学力向上にむけた改善策について

今年の全国学力学習状況調査の本市における分析結果と、今後の児童生徒の学力向上にむけた改善策を伺う。

A 全国学力・学習状況調査の結果について、教科の正答率と質問紙との相関関係や経年変化等について分析している。当該調査の結果を分析し、学習習慣や算数・数学の「考えを整理し説明する力」などに課題が見られた。今年度からおおつ学力充実チームを立ち上げ、市内全小中学校に年間約300回訪問し、指導助言などを行っている。今後ともこれらの取り組みを続けて、児童生徒の学習意欲の向上と学力充実につなげていきたい。

Q 伴 孝昭議員

民泊の相談窓口の設置について

すでに近隣の京都市が民泊の相談窓口などを設け、市民に対する安全対策や実態把握などの取り組みを積極的に進められる中で、今後本市においても市民の皆様の不安に的確に対応するため、相談窓口を設置すべきと考えるが見解を伺う。

A 今後、観光庁が設置する相談のワンストップ相談窓口や市役所などにおいて受け付けた通報や苦情が、所管行政庁において情報共有され所管部局が対応することとなっている。国から示される予定のガイドラインを踏まえ、庁内連絡会を設置し、国・県及び関係機関などと連携を行い、市民の生活環境が保全されるよう取り組みを進めていく。

Q 伊藤 茂議員

市民と協働した大津市制120周年について

平成30年に、大津市制120周年を迎えるが、大津市の歴史や未来図を市民に広報し、市民と協働して市民憲章の実践ができる風土の形成に向けて努めるべきだと考えるが、具体的な見解を伺う。

A 市制120周年という大切な節目であることは認識している。市民に郷土を愛する気持ちを涵養し、市民憲章の理念をいかした生活活動を実践していただけるよう広報おおつで特集として組み込み情報発信するとともに、あらゆる機会をとらえて啓発・周知できるように努める。郷土愛を育む事業の一つとして、歴史博物館で市制120周年記念企画展の開催を考えている。

Q 川口 正徳議員

指定管理者制度のモニタリング強化について

横浜市は、「利用者アンケート」、「利用者会議」の設置を指定管理者に義務付け、客観的・多角的な第三者による点検評価を実施している。第三者評価の結果は、本制度の適正な運用に資するものであり、導入に向けて早急に検討すべきであると思いが、見解を伺う。

A 制度導入以降、本市を取り巻く環境、市民ニーズは変化している。これまでからモニタリングを実施しているが、より一層のモニタリング機能の強化が必要であると考える。行政監査や包括外部監査の結果も踏まえ、課題等を総括した上で、本制度の適正な運用、第三者評価を含めたモニタリング機能のあり方等について、検討していく。

Q 桐田 真人議員

「お済み犯罪被害者支援センター」に対する財政上の支援について

私は、犯罪被害者等に寄り添い、途切れない手厚い支援が継続的に行われるための運営基盤の整備が滋賀県ならびに大津市における犯罪被害者等支援の拡充に直結するものと考えており、そのためには、安定した運営につながる財政上の支援が必要であると認識している。市民から県内で最も多くの相談が寄せられている現状を踏まえ、「お済み犯罪被害者支援センター」に対する財政上の支援について見解を伺う。

A 本市として、財政支援の必要性は認識している。県における犯罪被害者等支援条例の制定に向けた状況等を注視し、対応をしていく。

Q 竹内 基一議員

交通安全の基本となる道路の維持管理の取り組み状況について

道路の陥没や消えかかっている白線、狭あい道路の側溝など、道路の維持管理の取り組み状況について伺う。

A 日常の道路パトロールや市民からの通報、道路通報システムからの投稿など、幅広く情報収集を行い、道路の陥没補修や白線の補修など、迅速かつ安全な維持管理に努めている。また歩行者の通行環境を確保する側溝の蓋掛け改修については、地域の皆様と意見交換を行い、予算の範囲内で優先順位をつけ、順次整備を行う。今後とも安全安心に利用いただけるよう、適正な道路の維持管理に努めるが、特に危険度が高いものは、地域の方々からの通報が入った段階で早急に対応する。

Q 近藤 眞弘議員

適正な予算編成のあり方について

ここ数年、当初予算と年度終了時の決算額に大きな乖離が生じている。当初予算に限度額が設置され、各部署の事業執行予算が確保できない。

A 補正予算は基本的な考え方に基つき補正するべきであり、当初予算に計上すべき項目や市長の突発的な政策を補正するものではなく、総計予算主義の原則に基つき予算編成を行うべきであるが見解を伺う。

A 財政状況の厳しいなか、中期財政フレームに沿って毎年度の予算に対する基準を定め、予算額の適正化に取り組んできた。部局が本市全体の状況を理解し、自らの責任のもと予算編成を行うことで適正な予算編成が図れ、追加や変更の必要が生じたときは補正予算を編成する。

近隣他都市との連携強化に努めています

我が湖誠会では、多様化する市民ニーズや様々な諸問題を共有するため、近隣他都市との交流や勉強会を進めています。

守山市議会との意見交換会では、「地域交通」「観光誘客及び民泊」をテーマに、守山駅・堅田駅発着の路線バスで行われているスーパー学割バス定期券や高齢者のフリーパス券について説明を受けました。湖誠会からは、地域住民の生活環境を守るため、民泊に一定の規制を設ける民泊条例について他都市の事例を参考に議論しました。

また高島市議会とは、井村久行大津市副市長を講師にお招きし、「湖西の諸課題」をテーマに勉強会を開催。特に台風21号による災害対応や国道161号線バイパス事業について、活発に意見を交換しました。

今後とも湖誠会では、近隣他都市と共通する課題の解決に向けて、連携強化に努めていきたいと考えています。



守山市議会



高島市議会

Manifesto Awards 2017 マニフェスト大賞 4回目の受賞! 「優秀成果賞」「成果賞・特別賞」を受賞

地方自治体や首長、議会などの先進的な活動や優れた取り組みを表彰する2017第12回マニフェスト大賞で、津南市議会の意思決定条例の制定とテレビ会議による行政視察が評価され、「優秀成果賞」を受賞。また、過去のマニフェスト大賞において議会部門の大賞を受賞していることを頂点にすることなく、一定レベル以上の議会改革を歩み続けているとして、「成果賞・特別賞」も同時に受賞しました。

これを受けて昨年11月、東京で授賞式が行われ、津南市議会から我が会派の仲野弘子議長が出席し、表彰を受けました。

津南市議会は、平成25年度には全国の議会のトップとなる「議会グランプリ」、平成26年度には「審査委員会特別賞」、平成27年度には「優秀成果賞」をそれぞれ受賞しており、今回で4回目の受賞となりました。

